

令和6年6月

全員協議会資料

・肥前鹿島駅周辺整備事業について . . . 1頁

建設環境部
都市計画課

■ 駅前広場等の基本設計業務委託

- ・ 公募型プロポーザルによる選定 → 和久田+早田設計共同体が特定される（現在契約手続中）
 - ・ 業務内容：広場等の利活用+広場等の設計／予算2,000万円
 - ・ 業務期間：契約日～令和6年度末
-
- ・ 業務手順：①広場の利活用者発掘
 - ②利活用計画策定
 - ③イベント実験等の実施、広場利用ルール検討
 - ④広場の基本設計



設計対象施設配置図

●広場を設ける目的

肥前鹿島駅前には多様な交通の結節点となっているだけでなく、人々の交流を促進し、まちの賑わいを創出するなど重要な役割を担っている。都市計画マスタープランにおいて、将来都市構造の中で、肥前鹿島駅周辺から中心市街地にかけて広がる範囲を商業・業務拠点として位置付けており、駅前においては市の玄関口として、交流・賑わいの機能を強化することとしている。

鹿島市で策定した肥前鹿島駅周辺整備全体構想や基本計画、佐賀県で策定した肥前鹿島駅周辺エリア空間デザインプロデュースを経て、肥前鹿島駅周辺をスローツーリズムの拠点になることを目標として整備することとなった。様々な交通手段の拠点として、来訪者や市民が行き交うための滞留空間、交流空間、市民活動を支える空間、駅と中心市街地をつなぐ空間となる駅前広場を設けることで、市の目標である「交流・賑わい」機能の強化を実現したい。

●広場の計画方針

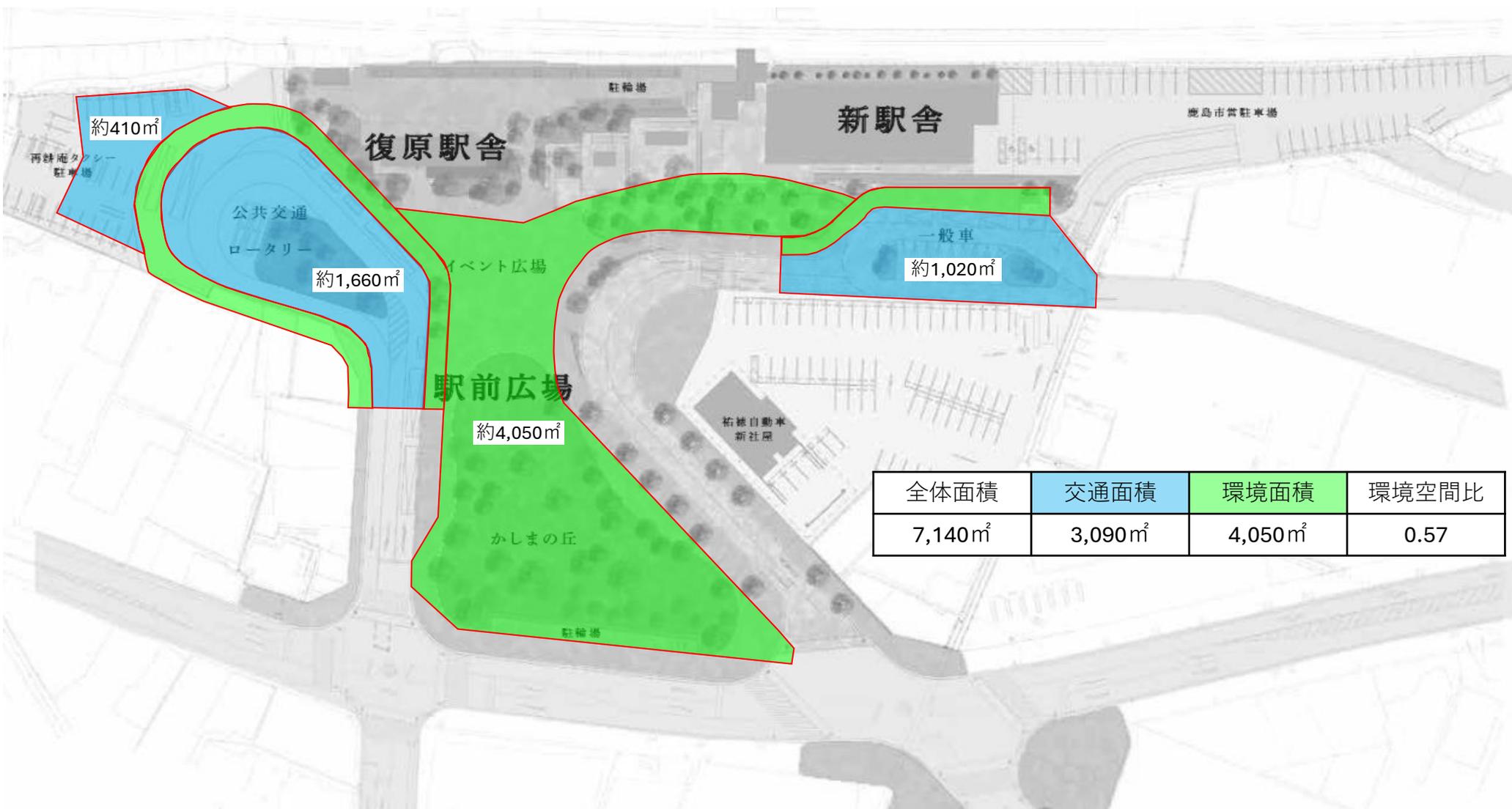
- ・駅前広場計画指針において、駅前広場は都市の玄関口として「シンボル性」持つことが重要とされている。肥前鹿島駅では一定程度のまとまった緑地を形成することで、多良岳山系を背景に、鹿島の四季の移り変わりを感じさせ、また駅前広場と国道を緩やかに区切るバッファゾーンとする。

- ・駅前広場では市民活動の拠点（イベント開催）を想定し、歩行空間や公共交通待合空間などを圧迫しないよう、十分なゆとりを持った環境となるよう計画する。

●駅前広場等の面積設定

駅前広場は、鉄道利用者の二次交通への乗り継ぎを処理する「交通空間」、買い物客や待ち合わせなど人々の交流や都市景観を形づくる「環境空間」の役割を担う。環境空間比（環境空間／交通空間）＝0.5が標準とされており（駅前広場計画指針より）、今回は市民イベント等の積極的な利用も想定するため、環境空間が大きい方が望ましい。

なお、広場（その他の交通施設）の形状については、周囲3方の道路に囲まれる配置となっているため、道路形状変更によって余った範囲を広場とする。次ページに示す環境空間比は結果的に0.5を上回った。



今後の取り組み

	R6									R7以降
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
駅整備計画公表等	●7/15シンポジウム									
都市計画決定	●7/31都市計画案の地元説明会 ●都市計画審議会勉強会 ●都市計画審議会 ●告示									
街路事業認定 補助事業申請					街路事業申請～認定					
				補助事業申請						●補助事業交付決定
駅舎整備	駅舎実施設計									駅舎整備
ロータリー整備	駅舎実施設計・用地交渉									ロータリー整備
広場整備	広場等基本設計									実施設計・用地交渉 広場整備
										補助事業期間



佐賀県

暮らすように旅する 鹿島・太良 を考える

第1回 むしろこれから鹿島・太良フォーラム

7.15 MON ^祝 10:00-12:00

「むしろこれから鹿島・太良」の志で、地域の未来を創り上げていく
鹿島・太良地域の持つ歴史や伝統・食文化といった生活文化＝「日常」は、
唯一無二の地域資源であり、これからの時代に必要な真の豊かさです。
この日常の暮らしの中にある価値を磨き上げ、暮らすようにゆっくりと楽しむ
スローツーリズムを推進するとともに、肥前鹿島駅エリアをその玄関口として
整備することで、世界中の人々を魅了する、何度も行きたいくなる、愛おしくなる
エリアづくりを目指します。

会場：ショッピングタウン ピオ1階
（佐賀県鹿島市高津原4326-1）
参加費：無料
共催：佐賀県 鹿島市 太良町

© 2024 Saga Prefecture.